

## 30周年記念事業シンポジウムの実施について

昭和55年の副作用被害救済制度運用開始から平成22年で30年を迎えたことから、記念事業シンポジウムを実施した。概要は下記の通り。

【開催日時】 平成22年12月6日(月) 13:00~17:00

【開催場所】 全社協・灘尾ホール

【参加者数】 約380人

一般の方々を対象に、制度の普及を目的に実施

### 内容(概要)

- ・制度創設の契機となった、スモン及びサリドマイド被害者の講演
- ・制度創設に行政として携わった方の講演
- ・制度利用者及び家族の方の講演
- ・救済業務委員による制度の現状・課題等に関する講演
- ・制度普及についてのディスカッション



参加者を対象にアンケートを実施

アンケート結果については、「とても理解しやすかった」及び「理解しやすかった」が合わせて90.8%であり、好評であった。(回答者219名 アンケート回収率約57%)